

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

当院における眼球破裂の視力予後因子：過去 7 年間の後ろ向き検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2018 年 2 月から 2024 年 12 月までの期間に昭和医科大学東病院眼科を受診し、眼球破裂と診断され初回手術を施行した患者さん

2. 研究目的・方法

眼球破裂は、鈍的あるいは穿通性の外力によって眼球壁の全層が破綻する重篤な眼外傷であり、しばしば不可逆的な視力障害や眼球萎縮をきたします。視力予後は受傷時の状況や初期治療によって大きく左右されますが、重症例においては良好な視機能を回復することが困難な場合が多いです。眼球破裂の視力予後に関する因子を明らかにすることは、より適切な初期治療方針の選択、患者さんおよびご家族への予後説明、さらには視力予後改善に向けた新たな治療戦略の検討に繋がるため、重要な意義を持ちます。これまでも眼球破裂の予後に関する研究は行われておりますが、本研究では診療録の情報を用いて当院における過去 7 年間の眼球破裂症例における特徴を詳細に分析し、統計学的手法を用いて視力予後に影響を与える因子を同定し、今後の診療に役立てたいと考えております。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 4 月 30 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録より、年齢、性別、受傷機転、来院時視力、創部の位置と大きさ、眼球内容物脱出の有無、手術内容、最終矯正視力（LogMAR 換算値）、B モード超音波検査における硝子体出血や網膜剥離の有無等の臨床データ。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 : 昭和医科大学病院附属東病院 眼科 藤枝虹介

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院附属東病院 眼科

氏名： 恩田 秀寿

住所：〒142-0054 東京都品川区西中延2丁目14-19

電話番号： 03-3784-8553